

退任記念

雄

手

Retirement Exhibition of

TEZUKA

YUJI

家

展

1990年10月10日

東京藝術大学大学美術館

本館3階 展示室3・4

10/10 [木] 10/24 [木]

【開館時間】10:00-17:00(入館は16:30まで)

【休館日】15日(火)、21日(月)

【観覧料】無料

【主催】東京藝術大学美術学部、東京藝術大学大学美術館

【協賛】社団法人

【お問い合わせ】ハローダイヤル03-5777-3600

1990年10月10日

1997年10月10日





2006.1.06

退任記念

# 雄手塚 展

Retirement Exhibition of

## TEZUKA YUJI

- 1953年 神奈川県に生まれる。
- 1980年 東京藝術大学美術学部後藤科日本画専攻卒業  
卒業制作 サロン・ド・ブランゾン賞受賞
- 1982年 東京藝術大学大学院美術研究科(日本画)修士課程修了  
修了制作 台東区賞受賞
- 1984年 院展奨励賞受賞(1987, '88)
- 1987年 藤の院展奨励賞受賞(1988, '90, '92)
- 1989年 日本美術院賞・大観賞受賞(1990, '91年)  
藤の院展・藤華展賞受賞(1993年)
- 1992年 日本美術院 同人推薦
- 1995年 東京藝術大学美術学部助教授
- 1997年 院展 文部大臣賞受賞
- 1998年 「日本画壇の復興 戦後50年への挑戦—手塚雄二展」開催  
(名古屋・徳島松坂屋)
- 2000年 院展 内閣府大臣賞受賞
- 2004年 東京藝術大学美術学部教授(～現在まで)
- 2006年 「手塚雄二 花月草堂展」開催(日本橋高島屋)
- 2010年 「手塚雄二 一輪と空色の秋まで」開催  
(そのころ美術館、松坂屋美術館)
- 2019年 明治神宮内陣御厚居(日月四季花鳥)完成  
「手塚雄二展 光を翳す、風を視る」開催  
(日本橋高島屋SC・駒込・大塚・京邦高島屋、横浜国立美術館)

1992年より東京藝術大学美術学部日本画科で教鞭をとり、2004年から15年間、教授をつとめた手塚雄二が、来年3月をもって東京藝大日本画科教授を退任します。今回はその記念展として開催されるものです。

1953年神奈川県に生まれた手塚は、長い浪人生活を経て76年に東京藝術大学日本画科に入学しました。卒業制作ではサロン・ド・ブランゾン賞、大学館の修了制作では台東区賞を受賞。当時はルネ・マグリットに代表されるシュールレアリスム作風に傾き、主に人物をモチーフにした高意匠の強い作品を描いていました。しかしある時、思いかげずスランプに陥り、新しいイメージが湧かなくなりました。そんな手塚を救ったのが、自然との出会いでした。内田からほのかに光を浴び、神々しさを帯びる姿にほない、風景の一隅。そこに込められた「希望」の心は、手塚の生涯を越えてのテーマとなりました。その後、開催では1989年～91年には日本美術院大観賞を受賞、その翌年には39歳という若さで同人に非入され、以来、伝統ある開催の次代の担い手として期待されるようになり、同時に画壇の人気画家として、多くの美術愛好家たちを魅了し続けてきました。

今回は、卒業制作や開催での受賞作など木面の代表作を選り手塚雄二のアグレッシブな軌跡を提示するほか、取材中に描かれた大量のスケッチと代表作の上下や大下回を公開します。さらには、今年の暮から秋にかけて全国巡回した「手塚雄二展 光を翳す、風を視る」展に出品され、「世紀の厚風絵」と賞賛された《明治神宮内陣御厚居(日月四季花鳥)》の大下回も特別公開いたします。

日本画の可能性をひたすら追求し続けてきた手塚雄二の動めたる冒険の記録を、是非ご覧ください。



雄100



雄104



雄108



東京藝術大学大学美術館  
本館3階 展示室304  
(〒100-8554 東京都千代田区上野4-6-2)